

歴史の街を歩く——神社・仏閣

最勝院五重塔 (Aオ-4) (国指定重要文化財)
津軽統一の際、戦死したすべての人々を慰めるために建てられた。塔の総高は31.2mで、東北一の高塔と讃えられており、五重塔の少ない東北地方では極めて大規模な塔である。
●見学時間 / 9:00-18:30(季節による変更あり) ●休館日 / なし ●拝観料 / 無料(さくらまつり・ねぶたまつり期間は大人数300円、小学生200円) ●弘前市南照町63 TEL0172-34-1123

長勝寺 (国指定重要文化財 / 本堂・山門はじり9棟・1口) (Aエ-2)
津軽家の菩提寺(菩提寺)として当町に建てられたが、弘前城築城と同時に現在の所として現在地へ移転。三門、梵鐘(ぼんしん)、鐘樓(かねのぼり)、五百羅漢、本堂など一具の価値あり。
●見学時間 / 4月-11月(冬季は要問合せ) ●見学時間 / 9:00-18:00 ●休館日 / なし ●外観拝観無料(予約あり) ●案内料 / 300円(10名以下) ●申込方法 / 4月下旬-11月 / ①9:00-16:00のうち、約40分 ②申込方法 / 7日前までに申込(公社)弘前観光コンベンション協会 TEL0172-35-3131 ●弘前市西照町1-23-8 TEL0172-32-0813

坐禅体験 (有料) (Aエ-3)
城下町弘前で、静寂の心を清め、無私の境地に導かれますか。
●申込方法 / 7日前までに申込 ※10人以上の申込可能(完全予約制) TEL0172-35-3131 (公社)弘前観光コンベンション協会

岩倉寺 十一面観世音立像 (Aオ-4) (東宝寺)
袋倉寺にまつられている。この立像は、像高595cmで東下最大級の木造仏。[高麗観音様]の異名があり、漆と金箔が施されている。
●見学時間 / 8:00-17:00 ●休館日 / なし ●拝観料 / 無料 ●弘前市下白銀町26 TEL0172-33-1382(管理棟は観音寺)

石家 (国指定重要文化財) (Aウ-5)
江戸時代中期の建築と推測される石家は、藩政時代ワラ工を扱っていた家商で、現在は酒屋さん。江戸時代のアーケード「コミセ」が残っています。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 不定休 ●入館料 / 中学生以上100円、小学生以下無料 ●弘前市亀甲町188 TEL0172-32-1488

川崎染工場 (Aウ-5)
4代藩主 津軽信政の(おまの)時代から始まった天然藍染。現在、弘前に唯一、天然の藍染が行われている川崎染工場では、当時の藍かきを使い、ハンカチやスカーフなど気軽に染物体験ができます。
●営業時間 / 9:00-17:00(冬季は9:00-16:00) ●定休日 / 木曜日 ●染物体験 / 900円(予約あり) ●弘前市亀甲町63 TEL0172-35-6552 ●工場見学は有料(大人200円、小中学生100円)

弘前八幡宮 (Aエ-7) (国指定重要文化財 / 唐門、本願ほか)
はじめは岩木地区にありましたが、弘前城築城後、鬼門の守りとして現在地に移転されました。随所に秋山文化の色を染み込ませています。
●見学時間 / 9:00-16:30 ●休館日 / なし ●拝観料 / 無料 ●弘前市八幡町1-1 TEL0172-32-8719

熊野奥照神社 (Aウ-7) (国指定重要文化財 / 本殿)
坂上田村麻呂が戦死した際、折れた神と伝えられ、現在の本殿は約400年前に2代藩主 津軽信政の(おまの)が再建。端正、簡素で歴長期の時代を示す建物です。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / なし ●拝観料 / 無料 ●弘前市田町4-1-1 TEL0172-32-7663

歴史の街を歩く——洋館

旧弘前市立図書館 (Aエ-4) (国指定重要文化財)
弘前おおかえの棟梁の家に生まれ、洋建築の技術を函館で学び、明治期の津軽地方において数多くの洋建築を手掛けた郷土佐吉、その郷土佐吉が設計施工したルネッサンス様式の建物です。左右にある八角形のドーム型双塔、石積窓など洋風建築技術の高さを感ぜさせます。かつては下宿舎・喫茶店としても使われていました。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年末年始 ●入館料 / 無料 ●弘前市下白銀町21所在地 / 海歩町館 TEL0172-37-5501(弘前市観光局) ●問合せ / 弘前市文化財課 TEL0172-82-1642

旧東奥義塾外人教師館 (Aエ-4) (東宝寺)
青森県初の私学校 東奥義塾の外国人教師館が在ったことで、書庫や研究室が当時の暮らしが感じられます。1階にある喫茶店では、広かミニチュア建築物を眺めながら、コーヒーやランチが楽しめます。
●見学時間 / 9:00-18:00 ●休館日 / 年末年始(ただし臨時開館の場合あり) ●入館料 / 無料 ●弘前市下白銀町51 TEL0172-37-5501(弘前市立図書館)

藤田記念庭園 (Aエ-4) (国登録有形文化財 / 洋館、和館ほか)
藤田晋吉出身で日本商工会議所初代会長の藤田晋吉が、大正10年(1921)に建てた別荘です。総面積は約2万1800㎡で、その広大な敷地の高台は、若木山を擁する借景式庭園。低地部分は花菖蒲が美しい池泉式庭園になっています。ラフとした趣向と和洋折衷のデザインが特徴です。
●見学時間 / 4月上旬-11月23日(休館日は逢祭日) ●見学時間 / 9:00-17:00、毎月第1土曜 9:00-20:00(予約あり) ●入館料 / 大人320円、中学生100円、小学生50円 ●弘前市上白銀町81 TEL0172-37-5525 ※毎月最終日曜日は無料 ※季節限定については問合せください

弘前学院外人宣教師館 (Aエ-4) (国指定重要文化財)
弘前女子教育の先駆者として設立された外国人宣教師の宿舎として建設された。八角形の塔屋、や、とが特徴的な洋館と洋折衷の建物で、女性を意識した建物になっています。
●見学時間 / 9:00-16:00(土曜日12:00まで) ●休館日 / 日曜日、月曜日、祝日、年末年始、4月29日-5月6日、創立記念日(6月25日)、8月13日 ●入館料 / 無料 ●弘前市松町13-1 TEL0172-38-6111

旧第八師団長官舎 (弘前市長公舎) (Aエ-4) (国登録有形文化財)
大正(1917)年、第八師団長官舎として建てられました。戦後はアメリカ軍の駐屯部隊司令官官舎として使用されました。ヨーロッパで発展したパーテンパー風の洋風建築で、現在は、外観はそのままに、カフェになっています。
●弘前市上白銀町1-1

浪漫の街を歩く——洋館

旧第五十九銀行本店(青森銀行記念館) (Aエ-5) (国指定重要文化財)
青森県初の銀行第五十九銀行の本店として、郷土佐吉が設計施工した。ルネッサンス風 和洋折衷の建物です。天井に使われている金漆唐紙は全体的にも貴重。旅行ゆめの防火窓、景観をよやくてくつろぐカウチや、果てはヤキソコなど、見どころが満載です。
●見学時間 / 9:30-18:30(四・五・六の期間は18:00まで延び) ●休館日 / 火曜日(但し4月・5月期間を除く) ●12月29日-1月3日 ●入館料 / 大人200円、小中学生100円、団体割引あり ●弘前市元町26 TEL0172-36-6350

旧弘前信託社 (国指定重要文化財) (Aカ-5)
旧弘前信託社は、陸軍第八師団の厚生施設として建てた。郷土佐吉設計最後の建築物。玄関ポーチベニヤメントには、第八師団の「ハ」をもじった「信」の鉄装飾があります。現在は、弘前厚生学院の現校舎として活用されています。
●見学時間 / 9:00-16:00 ●休館日 / 毎週火曜日、8月13日、年末年始 ●見学料 / 300円(17歳以下は無料) ●弘前市元町10 TEL0172-33-0588

日本聖公会 弘前昇天教会 (東宝寺) (Aオ-5)
大正時代建てられた、ゴシック様式赤煉瓦づくりの聖堂は、J・M・ガーディー設計といわれています。アメリカで120年前につくられたという日本で唯一のローザルガンは、今も現役で使用されています。
●見学時間 / 9:00-16:00 ●休館日 / 毎週火曜日、8月13日、年末年始 ●見学料 / 300円 ●弘前市元町10 TEL0172-33-0588

カトリック弘前教会 (Aエ-5)
名匠 郷土佐吉の横 横川吉吉が、明治末期に建設したロマネスク様式の木造建築です。落成2年(1866)に製作されたというゴシック様式の祭壇は、オランダの聖トマス教会から譲り受けました。カナダのロンドン神父ら贈られたステンドグラスには、若木山、りんご、津軽三味線など弘前がまるごと描かれ、とても綺麗です。
●見学時間 / 8:00-18:00(夏季)8:00-日没(冬季) ●休館日 / 結婚式・葬式、日曜日の午前中 ●入館料 / 無料 ●弘前市百石町小島20 TEL0172-93-0175

日本キリスト教団 弘前教会 (Aエ-5) (東宝寺)
明治8年(1875)に創立された、東北最古のプロテスタントの教会。クリスチャン棟梁 佐藤五郎が設計し、郷土佐吉の四男 斎藤三郎が建設しました。外観はゴシック様式の双塔が印象的で、内装は白漆喰が美しい。
●見学時間 / 9:00-16:00 ●休館日 / 月曜日 ●入館料 / 無料 ●弘前市元町48 TEL0172-32-3971

浪漫の街を歩く——洋館

津軽三味線
津軽三味線は、「ソバマ」と呼ばれる首の門つけ芸人が、津軽の各地をまわって、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を買って帰るという生活スタイルが、明治に定着して利用されています。コースにより追加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ / URL: http://machi-aniki.sakura.np.jp/ ●津軽三味線 検索 ※上記サイトから予約もできます。 ●問合せ / 津軽三味線観光推進実行委員会 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL0172-35-3131

津軽塗 (国指定重要文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である漆塗は、その工程で48回にわたる漆の塗り重ねが行われます。高貴な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆塗の代表的なものです。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年中無休 ●入館料 / 無料 ●TEL0172-26-5965

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い歴史の生活の中で育まれた女性の仕事です。せいたくを許さない風情が野良猫の布疋に絡みつき刺しに防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

フナコ
フナコの美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザイン性の優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省指定のグッドデザイン®商品に認定されています。フナコや器も人気です。

津軽の郷土料理
北風の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当「津軽弁」
「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元産の食材を使用した、津軽の風味がたっぷり詰まった弁当のことです。
●主な販売所 / 弘前2区職員自由通路 ※のぼりと赤い印が目印です。 ●お問合せ先 / 津軽振興会(弘前津軽弁販売所) TEL070-6366-7771

浪漫の街を歩く——洋館

津軽三味線
津軽三味線は、「ソバマ」と呼ばれる首の門つけ芸人が、津軽の各地をまわって、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を買って帰るという生活スタイルが、明治に定着して利用されています。コースにより追加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ / URL: http://machi-aniki.sakura.np.jp/ ●津軽三味線 検索 ※上記サイトから予約もできます。 ●問合せ / 津軽三味線観光推進実行委員会 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL0172-35-3131

津軽塗 (国指定重要文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である漆塗は、その工程で48回にわたる漆の塗り重ねが行われます。高貴な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆塗の代表的なものです。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年中無休 ●入館料 / 無料 ●TEL0172-26-5965

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い歴史の生活の中で育まれた女性の仕事です。せいたくを許さない風情が野良猫の布疋に絡みつき刺しに防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

フナコ
フナコの美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザイン性の優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省指定のグッドデザイン®商品に認定されています。フナコや器も人気です。

津軽の郷土料理
北風の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当「津軽弁」
「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元産の食材を使用した、津軽の風味がたっぷり詰まった弁当のことです。
●主な販売所 / 弘前2区職員自由通路 ※のぼりと赤い印が目印です。 ●お問合せ先 / 津軽振興会(弘前津軽弁販売所) TEL070-6366-7771

浪漫の街を歩く——洋館

津軽三味線
津軽三味線は、「ソバマ」と呼ばれる首の門つけ芸人が、津軽の各地をまわって、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を買って帰るという生活スタイルが、明治に定着して利用されています。コースにより追加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ / URL: http://machi-aniki.sakura.np.jp/ ●津軽三味線 検索 ※上記サイトから予約もできます。 ●問合せ / 津軽三味線観光推進実行委員会 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL0172-35-3131

津軽塗 (国指定重要文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である漆塗は、その工程で48回にわたる漆の塗り重ねが行われます。高貴な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆塗の代表的なものです。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年中無休 ●入館料 / 無料 ●TEL0172-26-5965

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い歴史の生活の中で育まれた女性の仕事です。せいたくを許さない風情が野良猫の布疋に絡みつき刺しに防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

フナコ
フナコの美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザイン性の優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省指定のグッドデザイン®商品に認定されています。フナコや器も人気です。

津軽の郷土料理
北風の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当「津軽弁」
「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元産の食材を使用した、津軽の風味がたっぷり詰まった弁当のことです。
●主な販売所 / 弘前2区職員自由通路 ※のぼりと赤い印が目印です。 ●お問合せ先 / 津軽振興会(弘前津軽弁販売所) TEL070-6366-7771

浪漫の街を歩く——洋館

津軽三味線
津軽三味線は、「ソバマ」と呼ばれる首の門つけ芸人が、津軽の各地をまわって、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を買って帰るという生活スタイルが、明治に定着して利用されています。コースにより追加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ / URL: http://machi-aniki.sakura.np.jp/ ●津軽三味線 検索 ※上記サイトから予約もできます。 ●問合せ / 津軽三味線観光推進実行委員会 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL0172-35-3131

津軽塗 (国指定重要文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である漆塗は、その工程で48回にわたる漆の塗り重ねが行われます。高貴な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆塗の代表的なものです。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年中無休 ●入館料 / 無料 ●TEL0172-26-5965

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い歴史の生活の中で育まれた女性の仕事です。せいたくを許さない風情が野良猫の布疋に絡みつき刺しに防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

フナコ
フナコの美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザイン性の優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省指定のグッドデザイン®商品に認定されています。フナコや器も人気です。

津軽の郷土料理
北風の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当「津軽弁」
「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元産の食材を使用した、津軽の風味がたっぷり詰まった弁当のことです。
●主な販売所 / 弘前2区職員自由通路 ※のぼりと赤い印が目印です。 ●お問合せ先 / 津軽振興会(弘前津軽弁販売所) TEL070-6366-7771

浪漫の街を歩く——洋館

津軽三味線
津軽三味線は、「ソバマ」と呼ばれる首の門つけ芸人が、津軽の各地をまわって、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を買って帰るという生活スタイルが、明治に定着して利用されています。コースにより追加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。
●ホームページ / URL: http://machi-aniki.sakura.np.jp/ ●津軽三味線 検索 ※上記サイトから予約もできます。 ●問合せ / 津軽三味線観光推進実行委員会 (公社)弘前観光コンベンション協会内 TEL0172-35-3131

津軽塗 (国指定重要文化財)
津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である漆塗は、その工程で48回にわたる漆の塗り重ねが行われます。高貴な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆塗の代表的なものです。
●見学時間 / 9:00-17:00 ●休館日 / 年中無休 ●入館料 / 無料 ●TEL0172-26-5965

こぎん刺し
津軽のこぎん刺しは、長い歴史の生活の中で育まれた女性の仕事です。せいたくを許さない風情が野良猫の布疋に絡みつき刺しに防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

フナコ
フナコの美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザイン性の優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省指定のグッドデザイン®商品に認定されています。フナコや器も人気です。

津軽の郷土料理
北風の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当「津軽弁」
「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元産の食材を使用した、津軽の風味がたっぷり詰まった弁当のことです。
●主な販売所 / 弘前2区職員自由通路 ※のぼりと赤い印が目印です。 ●お問合せ先 / 津軽振興会(弘前津軽弁販売所) TEL070-6366-7771

ひろろりおね
ガイドマップ
弘前観光情報

弘前観光情報
4月23日~5月5日
8月17日~8月17日
10月11日~10月11日
10月11日~10月11日
10月11日~10月11日

津軽の各種の神事
津軽の各種の神事

津軽の各種の神事
津軽の各種の神事

津軽の各種の神事
津軽の各種の神事

津軽の各種の神事
津軽の各種の神事

津軽の各種の神事
津軽の各種の神事